

ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成 バイオマーカー検査 / 肺癌

社内審査プロセス



本公募の概略

日本においてバイオマーカー検査に関し、コンパニオン診断薬（次世代シーケンサーを用いた診断薬を含む）の普及や検査精度の改善、腫瘍サンプルの効率的な利用方法等、様々な課題があることが報告されています。

これらの課題を解決するために、肺癌のバイオマーカー検査に関する医療従事者向けの医学教育的なプロジェクトを公募します。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

- 肺癌
- 本公募では、肺癌のバイオマーカー検査に関する医療従事者向けの医学教育的なプロジェクトに助成支援することを目的としています。

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2023年5月30日
- 審査結果通知: 2023年8月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2023年10月1日



助成額 / プロジェクト実行期間

プロジェクト1件あたりの上限額: 3,500,000円

プロジェクト実行期間: 3年間



I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2023年3月8日

公募対象疾患:

- 肺癌

本公募の目的:

- 本公募は、肺癌のバイオマーカー検査に関する医療従事者向けの医学教育的なプロジェクトに対して、ファイザーが支援するプログラムです。非小細胞肺癌の治療戦略はドライバー遺伝子変異を標的とする分子標的薬の登場によって大きく変化しました。ドライバー遺伝子変異(例:EGFR, ALK, ROS1, BRAF, NTRK, MET, RET, KRAS)を有する患者さんに対して、それぞれのコンパニオン診断薬による診断および分子標的薬による治療によって、生存期間が延長することが示されています。1)

現状、日本においてバイオマーカー検査に関し、コンパニオン診断薬(次世代シーケンサーを用いた診断薬を含む)の普及や検査精度の改善、腫瘍サンプルの効率的な利用方法等、様々な課題があることが報告されています。2-3)

そこで、これらの課題解決のための教育プログラムを公募いたします。

注意事項: 臨床試験(介入／非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 腫瘍内科医, 呼吸器内科医, 呼吸器外科医, 病理医, 臨床検査技師, 薬剤師

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 3,500,000 円

スケジュール:

- 公募開始日: 2023年3月8日
- 公募締切日: 2023年5月30日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2023年8月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2023年10月1日~2026年9月30日

申請方法:

- 以下の URL をクリックし、オンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<https://www.cybergrants.com/pls/cybergrants/>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2023 ONC JP: Biomarker Testing / Lung Cancer” を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では“Oncology - Lung”を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。
- 注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
megjapan@pfizer.com
お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「バイオマーカー検査/肺癌」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのた

め、申請を進める前に、所属施設・団体（法務部門を含む）がこれらの条件を順守できることを確認してください。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡（採択結果含む）はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます（中間報告）。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容（プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど）に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス

1. Kris, M. G, et al. 2014. “Using multiplexed assays of oncogenic drivers in lung cancers to select targeted drugs” *Jama*, 311(19): 1998–2006.
2. J. Shimizu et al. 2020. “Biomarker testing for personalized, first-line therapy in advanced non-squamous non-small cell lung cancer patients in the real world setting in Japan: a retrospective, multicenter, observational study (the BRAVE study)” *Ther Adv Med Oncol*. 2020 Feb 22;12
3. M. Mikubo et al (The Committee of the Biomarker Testing in Japan Lung Cancer Society). 2021. “The Guidance of NGS for lung cancer biomarker testing ver2.0” (https://www.haigan.gr.jp/uploads/files/NGS%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3-%E7%89%88_%E6%9C%80%E7%B5%82_version.MM.Oct.21.2021.pdf)

ファイザー Global Medical Grants について

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト（ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト）を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項 (RFP) を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内で行われる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例:ベースラインから10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は**以下費目には使用できません**。
 - 個人費用(懇親会費などの飲食費用、プロジェクト対象者の参加費・交通宿泊費など)
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、医薬品、テキスト・教科書の購入
 - プロジェクトメンバーの人件費(給与・謝礼)
 - プロジェクトメンバーが知識習得のために参加する学会等への参加費・交通宿泊費
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。